

プログラム

平成 29 年 3 月 10 日 (金)

14:00 受 付

15:00～16:00 **【第 1 部】多職種連携セミナー 共催：中外製薬株式会社**

「病院におけるリエゾンサービスの実際と課題」マネージャーとしての役割

座長：平岡 峰子（徳島大学病院 内視鏡センター）

①二次骨折予防を目指して ～骨粗鬆症リエゾンサービス構築に向けて～

演者：犬嶋 博美（富山市民病院 整形外科病棟）

②整形外科における骨粗鬆症マネージャーとしての役割 ～看護師の取り組み～

演者：中梶 公子（大阪府済生会吹田病院 看護部）

③地域医療連携における骨粗鬆症マネージャーの役割 骨粗鬆症看護外来の実際と今後の課題

演者：宮崎 木の実（聖隷佐倉市民病院 整形外科病棟）

④病院におけるリエゾンサービスの実際と課題 新潟リハビリテーション病院編

演者：星野 美和（新潟リハビリテーション病院 地域連携室）

16:00～16:30 **【第 2 部】多職種連携セミナー 「ミニレポート」**

骨粗鬆症マネージャー 何ができるか？どこを目指すか？その成果と悩み

座長：星野 美和（新潟リハビリテーション病院 地域連携室）

加藤木 丈英（聖隷佐倉市民病院）

①地方都市における急性期病院での多職種連携～当院での取り組み報告

演者：渥美 綾子（呉共済病院）

②ケア・ミックス型病院における骨粗鬆症リエゾンサービス

ー骨粗鬆症マネージャー活動 3 年間の喜びと悩みー

演者：都甲 昌子（サンライズ酒井病院 看護部、地域連携部）

③当院（ケアミックス病院）での O L S から見えてきたもの

演者：阿部 麗（健愛記念病院）

④私たちのリエゾンサービス

演者：村山 拓也（新潟リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

16:30～17:30 **グループワーク**

病院における骨粗鬆症リエゾンサービスの構築に向けた障壁と挑戦

病院でのリエゾンサービス構築のため何が必要か？解決すべき課題とは何か？

プログラム

- 17:30～17:40 **開会挨拶** 山本 智章 (新潟リハビリテーション病院)
- 17:40～18:40 **イブニングセミナー1 共催：第一三共株式会社**
新潟県における大腿骨近位部骨折発生状況の推移と現在の取り組み
座長：萩野 浩 (鳥取大学医学部保健学科)
演者：今井 教雄 (新潟大学医大大学院医歯学総合研究科 地域医療長寿学講座)
- 18:40～19:40 **イブニングセミナー2 共催：武田薬品工業株式会社**
大腿骨近位部骨折発生抑制のための薬物治療
座長：遠藤 直人 (新潟大学大学院 整形外科学教室)
演者：岩本 潤 (慶應義塾大学医学部 スポーツ医学総合センター)
- 20:00～ **情報交換会** (ホテル イタリア軒 大宴会場 サンマルコ)

プログラム

平成 29 年 3 月 11 日 (土)

8:00 受 付

8:25～8:30 **開会挨拶** 山本 智章 (新潟リハビリテーション病院)

8:30～9:00 **共催セミナー1 共催：日本イーライリリー株式会社**
高齢者骨折の現状と対策～フォルテオ治療の新知見と Best Practice への貢献～
座長：澤口 毅 (富山市民病院)
演者：萩野 浩 (鳥取大学医学部保健学科)

9:00～9:30 **セミナー 1**
大腿骨近位部骨折に対する手術のタイミングと抗凝固療法への対応
座長：普久原 朝海 (新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター)
演者：紙谷 義孝 (新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 麻酔科)

9:30～10:00 **セミナー 2**
「米国ホスピタリストの経験から見た hip fracture 周術期管理」
座長：生越 章 (新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 整形外科)
演者：石山 貴章 (新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 総合診療科)

10:00～10:10 休 憩

10:10～11:10 **特別講演 共催：新潟県骨粗鬆症骨折対策事業連絡協議会 (新潟大学医歯学総合研究科 地域医療長寿学講座)**
NHFD の取り組み Global FFN からの報告と方向性
National clinical audit - hip fracture as a model for the care of frail older People.
座長：寺本 民夫 (帝京大学 臨床研究センター)
演者：Dr. Antony Johansen (University Hospital of Wales, Cardiff, UK)

11:10～11:40 **共催セミナー2 共催：旭化成ファーマ株式会社**
大腿骨近位部骨折を防ぐためのエビデンス –ゾレドロン酸年1回製剤の適応を考える–
座長：森 諭史 (聖隷浜松病院 骨・関節外科)
演者：田中 伸哉 (埼玉医科大学病院 整形外科・脊椎外科)

11:40～12:10 **共催セミナー3 共催：メドトロニックソファモアダネック株式会社**
骨粗鬆症性椎体骨折 保存治療成功の鍵と手術適応のポイント
座長：渡辺 慶 (新潟大学医歯学総合病院 脊椎・脊髄外科)
演者：星野 雅俊 (大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学教室)

12:10～12:20 休 憩

プログラム

- 12:20～13:20 **ランチョンセミナー 共催：KiSCO**
脆弱性骨折における大腿骨頸部・頸基部骨折に対する新しいインプラントの開発と臨床成績
座長：松下 隆（総合南東北病院 外傷センター、福島県立医科大学 外傷学講座）
演者：白濱 正博（久留米大学医学部 整形外科教室 骨折外傷担当）
- 13:20～13:30 **会長講演**
骨粗鬆症リエゾンサービスを考える マネージャーを支えるサポーターの意義
山本 智章（新潟リハビリテーション病院）
- 13:30～14:15 **共催セミナー4 共催：HOYA Technosurgical 株式会社**
大腿骨転子部骨折手術における内固定の選択と術中整復のコツ
座長：伊藤 雅之（福島県立医科大学 外傷再建学講座）
演者：塩田 直史（岡山医療センター 整形外科）
- 14:15～16:35 **一般演題（口頭発表）**
- 1 「骨粗鬆症の疫学・リスク評価・治療」**
座長：山崎 薫（磐田市立総合病院 整形外科）
- 1-1 地域在住中高齢者の筋量、筋力と血清ミオスタチンの年代差について
森脇 健太（鳥取大学医学部附属病院 整形外科）
- 1-2 骨粗鬆症の治療対象としての Cancer Survivors
本田 透（香川県立中央病院 リハビリテーション科）
- 1-3 大腿骨近位部骨折患者の妻子(娘)には骨密度検査を勧めるべきである
菊池 直哉（県北医療センター高菰協同病院 整形外科、つくばセントラル病院 整形外科）
- 1-4 脆弱性大腿骨近位部骨折の発生において生活習慣病ほどの程度関与しているか
岩倉 崇（兵庫県立淡路医療センター 整形外科）
- 1-5 日本人の骨折高リスク骨粗鬆症女性に対する骨粗鬆症治療薬の費用対効果分析
—アレンドロネートとデノスマブの比較—
吉沢 知宏（筑波大学医学医療系整形外科）
- 2 「脆弱性骨折治療」**
座長：普久原 朝海（新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター）
- 2-1 長時間透析による低P血症の関与が疑われた脆弱性骨折の1例
脇 貴洋（明石医療センター 整形外科）
- 2-2 脆弱性足関節粉碎骨折に対する Ilizarov 創外固定+CELTAB 法
野坂 光司（秋田イリザロフ法グループ）
- 2-3 骨折メカニズムを念頭に大腿骨転子部骨折の3D-CT・X線を読影する
佐藤 朗（新潟臨港病院 整形外科）
- 2-4 高齢者安定型大腿骨頸部骨折に対する骨接合術の治療成績
土井 武（岡山赤十字病院 整形外科）

プログラム

3 「骨折2次予防」

座長：本田 透（香川県立中央病院 リハビリテーション科）

- 3-1 大腿骨近位部骨折患者に対する受傷前骨粗鬆症治療薬使用についての検討
田村 公一（国立病院機構岡山医療センター 整形外科）
- 3-2 当院における大腿骨近位部骨折患者の骨粗鬆症治療状況と今後の課題
玉岡 拓也（兵庫県立淡路医療センター 整形外科）
- 3-3 大腿骨近位部二次骨折予防のための骨粗鬆症治療介入の骨密度の感度と特異度の検討
寺元 秀文（呉共済病院 整形外科）
- 3-4 橈骨遠位端骨折症例に対する骨粗鬆症治療の必要性に関する検討
山崎 薫（磐田市立総合病院 整形外科）
- 3-5 橈骨遠位端骨折の患者に対する二次骨折予防の取り組み
依田 拓也（新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院 整形外科）

4 「地域連携・リエゾン」

座長：寺元 秀文（呉共済病院 整形外科）

- 4-1 都市部における大腿骨近位部骨折パス導入後の骨粗鬆症治療継続に関する問題点
田中 瑞栄（社会医療法人河北医療財団河北総合病院 整形外科）
- 4-2 当院における骨粗鬆症リエゾンサービスの取り組み
小林 沙織（埼玉慈恵病院 医療相談室）
- 4-3 脆弱性骨折患者に対する病棟での骨粗鬆症リエゾンサービスの導入～多職種による介入～
十河 有里（香川県立中央病院 看護部）
- 4-4 骨粗鬆症リエゾンサービス提供に至らなかった要因の検討
大野 礼子（サンライズ酒井病院 看護部）
- 4-5 骨粗鬆症リエゾンサービスの退院指導における課題
大橋 由香理（埼玉慈恵病院 看護部）

5 「骨粗鬆症予防」

座長：酒井 祐一（サンライズ酒井病院）

- 5-1 当院での骨粗鬆症予防看護外来の取り組み状況と今後の課題
庭田 真理（新潟労災病院 整形外科）
- 5-2 東広島地区における骨粗鬆症に関する地域医療への取り組み
山中 祐二（東広島医療センター 看護部）
- 5-3 骨粗鬆症による脆弱性骨折患者のカルシウム摂取量と外出時間の調査
江原 理恵（埼玉慈恵病院 栄養科）
- 5-4 薬局薬剤師による骨粗鬆症の治療継続と早期発見へのアプローチの試み
市橋 直子（はあとふる薬局）
- 5-5 クリニックは骨粗鬆症治療の拠点となれるか？
島垣 斎（整形外科・皮膚科しまがきクリニック）

プログラム

6 「リハビリ」

座長：小林 量作（新潟医療福祉大学 医療技術学部 理学療法学科）

6-1 当院における橈骨遠位端骨折後の骨粗鬆症治療実施状況とリハビリテーションの検討
久保 匡史（筑波大学附属病院リハビリテーション部）

6-2 人工股関節全置換術後のバランス能力評価
萩野谷 歩（筑波大学附属病院 リハビリテーション部）

6-3 当院における骨粗鬆症外来患者の運動継続に関する一考察
宮川 洋一（重工記念長崎病院 リハビリテーション科）

6-4 転倒予防の運動を継続するための骨粗鬆症教室
吉永 裕策（埼玉慈恵病院 リハビリテーション科）

6-5 椎体骨折パス患者における認知機能の検討
森口 みどり（新潟リハビリテーション病院 言語聴覚科）

16:35～17:35 一般演題 ポスター展示・自由討論・質疑

17:35～18:45 ラウンドテーブルシンポジウム FFN-J ・ 運動器の10年日本協会 合同企画
Hip fracture best practice へのアプローチ

座長：高橋 榮明（新潟リハビリテーション病院 新潟骨の科学研究所）
三木 隆己（泉大津市立病院）

大腿骨近位部骨折の治療と予防に関する共通指標の共有化と見える化
--日英の比較による一次および二次骨折ゼロを目指す戦略--

演者：高橋 榮明（新潟リハビリテーション病院 新潟骨の科学研究所）

①「大腿骨頸部骨折地域連携クリニカルパスの過去・現状・未来」

演者：伊藤 淳二（青森県立中央病院 整形外科）

②「大腿骨近位部骨折治療において骨粗鬆症リエゾンサービスが果たす役割」

演者：石橋 英明（伊奈病院 整形外科）

③「大腿骨近位部骨折診療ガイドラインからの提言 -早期手術、周術期連携の重要性-」

演者：澤口 毅（富山市立富山市民病院 整形外科・関節再建外科）

18:45～19:00 日本におけるNHFDに向けて
National hip fracture database (NHFD) -Japan project
松下 隆（日本脆弱性骨折ネットワーク (FFN-J) 理事長）

19:00～19:10 閉会挨拶 山本 智章（新潟リハビリテーション病院）
次期会長挨拶 森 諭史（総合病院聖隷浜松病院 聖隷クリストファー大学 骨・関節外科）

19:30～21:00 全員懇親会（ホテル イタリア軒 12階 ゴンドリーナ）

プログラム

サテライト企画 【会場:ホテルイタリア軒・5階・トリノ】

8:00 受付

8:30～9:00 **モーニングセミナー 共催：日本イーライリリー株式会社**
クリニックにおける OLS の実践とフォルト導入と継続のコツ
座長：三木 隆己（泉大津市立病院）
演者：鶴上 浩（鶴上整形外科リウマチ科）

9:00～9:30 **共催：日本イーライリリー株式会社**
外来診療における骨粗鬆症リエゾンの成功の道筋
座長：田中 瑞栄（河北総合病院 整形外科）
クリニックでもここまでできる骨粗鬆症リエゾンサービス
演者：吉田 美奈子（整形外科・皮膚科しまがきクリニック）
当院外来における骨粗鬆症リエゾンサービスの取り組み
演者：横堀 由美（新潟リハビリテーション病院）
骨粗鬆症治療継続率アップのための当院の取り組み
演者：天下井 恵（上石クリニック）

9:30～10:30 **グループワーク**
「外来クリニックにおけるマネージャーの役割」 患者さんの求めるもの